

SYMPHONY

令和3年度 就職事前研修説明会を開催して

当法人では毎年、新入職員に対して入職前に配属先の職場環境に慣れていただきたいとの思いから、職場事前研修を実施しています。

この期間はまだ学生ですので配属先の施設では、業務を覚えることよりも、入所者の皆様のレクリエーション活動を手伝ったり、入所者様とコミュニケーションをとることで、職場の雰囲気、先輩職員の働く姿を見て、介護施設で働くとはどういう事なのか理解を深めていただいています。

この事前研修を受けることにより、毎年新入職員から「事前に配属先の先輩、入所者の皆さんを知ることができて緊張せず業務につくことができました。」等の声が届いています。

2月2日に、令和3年度に当法人へ入職する6名の新卒介護職員に対して、「就職事前研修説明会」を開催いたしました。説明会では、理事長の挨拶に始まり、研修の心構え、介護の仕事の理解等を説明させていただきました。説明会の冒頭では、配属先の役職者と初めての対面となるため6名の緊張が伝わってきましたが、説明会が進むにつれ緊張もほぐれ、笑顔も見られるようになりました。

説明会の中で6名が、各登壇者の話を真剣に聞き、肯き、メモを取るなど、その真摯な姿が印象に残りました。この6名が介護職員として、ひとり立ちして当法人に入職して良かった、介護の仕事に就いて良かったと実感できるよう、育成していかなければならないと、その責任の大きさに身が引き締まる思いがいたしました。

いよいよ4月からは社会人としての業務が始まります、第二・第三長上苑には1名の新卒介護職員が配属されます。ご家族の皆様にご信頼していただける職員に育ててまいりますので、これからも当施設の運営へのご理解とご協力をお願いいたします。

オンライン面会を開始して

新型コロナウイルスによる、ご家族の皆様には面会の制限についてご理解とご協力をいただきありがとうございます。当施設では1月にWi-Fi環境を整え、居室からでも入所者の方とご家族様がオンライン面会が可能となりました。現在、オンライン面会ではズーム（Zoom）を使用しておりますが、他の通信アプリをご利用されている場合でも、事前に連絡をいただければ対応させていただきます。

先日、県外のご家族様と入所者様がズームでオンライン面接を行ないました。ご家族様からは、「元気な姿が見られて安心した。」とお言葉をいただきました。今後も予約制での窓越し面会とオンライン面会を並行して進め、入所者様とご家族様の不安やご心配を軽減できればと考えております。

このオンライン面会はパソコンがなくてもスマートフォンがあれば行なうことができます。使用方法等ご不明な点があればお気軽にご相談ください。



施設長 水谷秀夫



実習生の受け入れについて

本年度は当初より、新型コロナウイルスの感染が拡大し、浜松市内にもその影響の及ぶところとなりました。入所者様を守る為、当施設ではご家族様の面会を制限させていただいておりますが、そうした中で「実習生の受け入れをしても良いものか？」と施設内でも実習生を受け入れることを不安視する声が上がりました。そこで施設内で検討を重ねた結果、将来介護職を目指している志の高い生徒に実習の機会を提供したいとの思いから、条件を定め受け入れることに決めました。

条件とは、実習が始まる2週間前からの行動記録と体調管理の実施、実習中の体調管理（1日2回の検温）、マスクの着用、手洗いの徹底、実習中の行動記録、接触者の把握などです。

このような養成校の理解と協力を得て市内感染の状況を踏まえ本年度は4校の養成校から30名の実習生を受け入れることができました。

実習生は目標を意識しながら、学校で学んだことが現場の施設でどのように実践されているか理解を深めています。これからも感染症対策に万全を期し、実習生を受け入れていきたいと思っております。皆様のご心配も大きいと思っておりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

当施設で実習を行なった若い芽が太い根を張り、介護の世界を支えてくれる大樹に育つことを願ってやみません。

課長補佐 益田八千代

実習の期間中には、一週間に一度、実習生、実習担当職員、先生と振り返りの時間（スーパービジョン）を設けています。その週ごとに学生の気づき、疑問等を皆で共有し、より良い実習になるよう努めております。

実習担当 横田智之



スーパービジョンの様子



3月の行事食 海鮮ちらし寿司



3月3日（水）【ひな祭り】

昼食には甘えび、とろまぐろなど海の幸で彩られた華やかな「ちらし寿司」を提供いたします。

「ひな祭り」は、中国の「上巳（じょうし）の節句」が日本へ伝わったのが起源のようです。旧暦の3月3日は現在の4月になる為、ちょうど桃の花が咲く頃となり、「桃の節句」と言われるようになりました。彩り豊かな「ちらし寿司」で一足早く春の息吹をお楽しみください。





よむに一号



自動車文庫



車内の様子



読書中

毎月一度、城北図書館から「自動車文庫・よむに一号」が来苑します。最近ではコロナウイルスの影響で入所者が、車内で本を選ぶことができなくなり、職員が入所者の要望に応じて本を借りています。

リクエストは恋愛小説から時代小説、エッセイ、写真集、専門書など多岐にわたります。中でも不動の人気を誇るのが、「皇室関係の書籍」で、入所者の皆様はとて大切に扱っていらっしゃるのようです。

中には3冊を一週間ほどで読み終える方もいて「今度はあの本が読みたいね。」「次はいつ来るだいねえ。」と心待ちにしております。制限の多い日々が続く入所者様にとって大きな楽しみとなっています。

新型コロナウイルスの感染に終息の見通しが立たない中、いろいろな場所に出かけて活動をされている図書館の皆様の頑張りに感謝です。

2月3日 おでん

2月3日には、寒い日の定番「おでん」を提供しました。大根、卵、ちくわ、結び昆布、さつま揚げなどおなじみの食材が鍋の中で煮えてくると、食欲をそそる良い香りが広がります。厨房ではこの日のために、カセットコンロや土鍋を用意して雰囲気盛り上げてくれました。大根の面取りや味が染みるための下ごしらえに手間をかけ入所者様のもとへお出ししました。「家でも寒くなるとよく作ったよ。」「味がよく染みてて美味しいね。」「(職員へ) あんたたちも食べな、美味しいよ。」と入所者様にとて喜んでいただきました。

季節を感じさせる献立と旬の食材を生かした心のこもった料理を工夫を凝らして、届けてくれる厨房の皆さんの技術と真心にいつも驚かされます。



輪投げと散歩

2月7日には、散歩と輪投げを行ないました。活動する機会が少なくなった入所者の皆様に体を動かしていただこうと「輪投げ」を行ないました。「簡単に見えるけど難しいぞ。」「狙ったところへさっぱりいかんなあ。」と言いつつとても楽しそうでした。

また14日には、第二長上苑の池まで散歩しました。少し肌寒い天候でしたが、久しぶりに外へ出られることで入所者の皆様は喜んでくださいました。池を悠々と泳ぐ大きな鯉に「うわあ、食べられちゃいそうな大きな口だね。」「よく肥えてるねえ。」「子供の頃は天竜川で鯉釣りをしたよ。」と仰っていました。

童心に返ることのできた午後のひと時でした。

非常用電源



一昨年の台風19号では第三長上苑において二日間にわたり停電するなど大きな被害を受け、入所者の皆様には多大な心配とご迷惑をおかけ致しました。最近では台風なども大型化し、被害も甚大なものになっています。

台風19号による停電を教訓に第三長上苑では、非常用発電機を設置致しました。苑の電気設備をフル稼働で48時間、使用範囲を絞れば72時間の連続使用が可能です。

もちろん使う機会が訪れないのが一番ですが、この優れた設備を有効活用するために定期的なメンテナンスを行ない非常時、確実に稼働できるよう保守・管理しています。入所者の皆様に安心と安全な暮らしを提供できるよう努めています。



3月の行事予定

日	曜日	時間	内容
2	火	16:10	ライフサポート委員会
5	金	15:00	フラワーアレンジメント
8	月	9:00	理美容
9	火	未定	坂の上FC 回診
11	火	16:10	最期まで口から食べる委員会
10	水	10:30	防災訓練
12	金	14:00	天王病院 回診
15	月	16:00	リスク委員会
17	水	未定	体重測定
18	木	15:00	経口維持会議
24	水	10:00	運営推進会議
26	金	10:00	自動車文庫
27	土	14:00	天王病院 回診

編集後記

「やって見せ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば人は動かじ。話し合い耳を傾け承認し、任せてやらねば人は育たず。やっている姿を感謝で見守って、信頼せねば人は実らず。」これは山本五十六連合艦隊司令長官の言葉です。新入職員を迎えるにあたり思い出しました。人を育てる難しさは介護に限ったことではありません。社会が日替わりで変化していくような現代に、人材育成に正解はないのかもしれない。育てる側にこそ覚悟と努力が必要なのではないでしょうか。

新しい広報誌「シンフォニー」はいかがでしょうか？これからも第三長上苑の『今』をお届けいたします。